

令和 5 年度 第 1 回教育編成委員会 会議議事録

1. 日時：2023 年 6 月 26 日 13:15～14:45

2. 場所：日産愛媛自動車大学校 会議室

3. 参加者 学校外委員

出席者 有職者代表 愛媛大学 教授 工学博士 中原 様

企業代表 愛媛日産自動車（株）サービス部 田村 様

企業代表 日産プリンス愛媛販売（株）サービス部 樋口 様

学校内委員

出席者 日産愛媛自動車大学校 校長 高橋 照雄

日産愛媛自動車大学校 部長 高橋 潔

日産愛媛自動車大学校 科長 西浦 進一

4. 教育編成委員会内容

1) 現在の学校がおかれている現状説明

高橋 潔委員）コロナも落ち着き学校行事も以前と同様の開催が可能となってきた。令和 4 年度の卒業式は、国家試験を控えた学生の体調を考慮し、昨年同様のオンライン開催とし、保護者の参列を取りやめた。入学式に関しては保護者にも参列頂き、コロナ前と同様の開催ができた。学校設備では学生寮の一階を改修し、一級工学科の 3, 4 年生の新教室が完成した。同時に寮食堂を縮小、寮トイレも改修を行い、すべて 4 月より運用を開始した。今年度は寮浴室の改修を計画している。

2) メンバー紹介（学校外委員 3 名、学校内委員 3 名）

3) 各委員の選出

・委員会の進行を学校の高橋潔、書記係に学校の西浦を任命。賛同を得て承認。

4) 第 1 回教育編成委員会

— 議事 —

高橋 潔委員）

高橋 照委員）

① 【FY23 愛媛校体制説明】

- ・国際自動車整備科の課長を大政 浩行が事務長と兼務とした。
- ・同整備科の担任をミャンマー人の女性教員（AYE MYA MYA THWIN）（2 級整備士）とした。
- ・就職 G 及び同窓会事務局の担当に元、愛媛日産で店長経験がある田徳 淳を採用した。

② 【国家試験結果報告】

- ・1級4年の在籍者は12名いたが、4名が期末試験を合格できず、卒業者が8名となった。したがって国家試験は8名受験となったが、2名が不合格となり、筆記試験合格者6名が5月の口述試験を受験した。口述試験では1名が不合格となり、最終的な1級合格者は5名となり、合格率は5/8 (62.5%)となった。
- ・2級は55名が受験（内訳：1級工学科2年23名、自動車整備科卒業生32名、）ガソリン、ディーゼル両方の科目を全員が合格した。久しぶりの両科目100%となり、今後も継続させていきたい。

田村 委員) 留学生も目標は国家2級整備士を目指すのか。

高橋 潔委員) 目標は国家資格取得である。

③ 【ICT教育についての情報共有】

- ・昨年の1年よりChromebookを使用し、今年度は1,2年生に拡大して使用している。教員の授業準備は工数が増えているが、昨年度の経験を活かしながら、効率的に活用している。ペーパーレス化が進み授業での運用も学生レポートの提出等、実績が増え、今後もICT教育の中心として進めて行く。
- ・全寮制廃止に伴う寮生減少を受け、和光寮1階の食堂部分を適性縮小し、新たに3,4年生の新教室を改築した。新教室の特徴は収容人数：30人×2教室、座席はフリー・アドレス、2名掛け、中央壁面に電子黒板を設置、前面左右にサブ・モニターを設置、授業用Wi-Fi完備となっている。メリットは3年次のChromebook授業に対応、工学科3,4年生の継続的な進級人数に対応可能、電子黒板の導入により、電気回路等の理解度向上が見込める。

高橋 照雄委員) 電子黒板と左右モニターは、外部より寄付を頂いたため、2教室に設置できた。教育には有効な為、将来的には全教室に設置したい。

中原 委員) モニターで電子黒板と同じ機能をさせると価格は2倍になる為、費用効果は高いと感じる。

④ 【FY21 卒業生アンケート（販社アンケート）の結果報告】

- ・FY22の愛媛校日産圏新入社員についてのアンケート結果では、コンサルト（外部診断機：OBD）で故障部位の特定、理論的に順序だてた故障診断の項目が低い。新入社員である事を考慮するとスコア的に理解できる。基本的な電気回路の理解は数年間スコア的に伸び悩んでいる。
- ・自動車整備科、工学科卒業別では、自動車整備科のスコアが高く、健闘が伺える。

高橋 照雄委員) 学校では、コンサルトの基本的な取り扱いや故障診断は教育している。卒業後は販売会社でより実践的な使用方法、故障診断の活用を習熟してほしい。

⑤ 【国際自動車整備科活動報告】

・昨年はコロナ禍で入国者が少なかったため、新入生は 5 名と激減したが、今年は 8 名に回復し、今後についても増加が見込まれている。国際科 1 年次の日本語力向上に向けて、担当教員を変更。ENATIC での経験が豊富な担当科長と、ミャンマー人女性教員（国家二級整備士）での指導体制とした。日本語授業についても見直し、今年度から新たな講師を招いて授業を実施している。

高橋 照雄委員） 来年度入学の留学生も増加する見込みである。しかし、留学生にとって地方はアルバイト賃金が安い等、都府県に比べ魅力が半減している。愛媛校としては、適正アルバイト賃金の確保、生活環境のサポート、日本語教育の充実などに力を注ぎ、留学生の満足度を上げる事で募集増につなげていきたいと考えている。

中原 委員） 大学でもアルバイト賃金は低い認識があり、もっと請求しても良いと感じる。半面、アパートなどの賃貸料は低く、生活環境も住みやすい利点はある。

【その他の意見】

中原 委員） ICT 教育は大学より進んでいるが、自動車整備科の国家試験の合格率に結びついているのか。

高橋 潔委員） 今年、受験した学生は Chromebook を使用していないが、国家試験学習に使用できるアプリやコンテンツなどを活用し実習の待ち時間などで勉強している学生もおり、学習の+αにはなっていると認識している。

以上

令和 5 年度 第 2 回教育編成委員会 会議議事録

1. 日時：2024 年 1 月 16 日 17:00～18:30

2. 場所：日産愛媛自動車大学校 会議室

3. 参加者 学校外委員

出席者 企業代表 愛媛日産自動車（株）サービス部 田村様

企業代表 日産プリンス愛媛販売（株）サービス部 樋口様

欠席者 有識者代表 愛媛大学 教授 工学博士 中原様

学校内委員

出席者 日産愛媛自動車大学校 科長 西浦 進一

日産愛媛自動車大学校 事務長 大政 浩行

欠席者 日産愛媛自動車外学校 校長 高橋 照雄

日産愛媛自動車大学校 部長 高橋 潔

4. 教育編成委員会内容

1) 現在の学校がおかれている現状説明

大政 委員) コロナも 5 類に移行し、学校行事は現在まで計画通りに進行出来ている。現在は、卒業学年(2,4 年生)の国家試験対応と 1,3 年生の就職活動をおこなっている。また、国家試験会場については、コロナ自体は収束傾向にあるが、今後の感染リスクは予測不能な為、学校会場での実施予定である。卒業式は通常通りの開催を予定している。

2) メンバー紹介（学校外委員 2 名、学校内委員 2 名）

・ 中原委員、高橋校長、高橋部長は欠席のため、後日議事録を送付予定。

3) 各委員の選出

・ 委員会の進行を学校の大政、書記係に学校の西浦を任命。賛同を得て承認。

4) 第 2 回教育編成委員会

— 議事 —

大政 委員)

① 【退学者・欠席率】

・ 現在の退学者は、自動車整備科 1 年生 9 名、2 年生 1 名、一級自動車工学科 1 年生 1 名、3 年 3 名となり、全体では期初人数 194 人から 180 人となった。

・ 欠席率については、4 月より 1 年生の特定学年が悪く現在も改善できていない。また、上級学年の 3, 4 年生についても卒業に向け改善が必要な状況である。

② 【就学状況】

- ・1年生は大幅に出席率が低下し、それに伴うように授業の進捗も思わしくない学生が増えている。全体平均点は昨年 65.7 点⇒FY23 55.5 点と低下している。また、補講時間にかかなりの時間を費やす学生もあり、このままでは進級が危ぶまれる。
- ・2年生は1年次に引き続き学習意欲の高い状態を維持できている、全体的には良い状況。しかし、極低位の学生も数名おり、国家試験の全員合格については予断を許さない状況だと考えている。
- ・3年生は前期に意欲の低い学生が3名退学となったが、その他の学生は学習意欲も高く、進級に向け頑張っている。低位学生が数名いるが、学習意欲は高い事から、教員のフォローにより進級は可能と考えている。日産圏就職率は昨年より改善している。
- ・4年生は3年次より、複数名の学習意欲が低い学生に工数をかけたが、現在までに改善は出来ていない。学年全体でも5S意識が低く、上級生の意識づけを継続中である。国家試験に向けては、数人の極低位者のフォローを行っているが、模擬試験の得点推移が思わしくない。
- ・国際自動車整備科は1年生が7月にN3を8名が受験し5名が合格。12月にN2を5名が受験、N3を3名が受験。受験結果は1月中旬予定。
- ・2年生が5名全員、日産販売会社の就職を希望し活動中。
- ・3年生はC巡終了時点で定期試験の不合格者は発生せず、日本人の学力と遜色はないと判断している。

田村 委員) 自分が学生の頃は、自動車の仕事に就く為に、資格取得は割り切って行ってきたが、現在の学生はどうか？

大政 委員) 昔ほど自動車に興味があって入学してくる学生ばかりでは無く、学習意欲の低い学生も入学してくるので、資格取得の意識付けは苦勞をしている。これからは多様な学生をいかに就職に意識を向け、卒業させるかが学校存続の課題と考えている。

③ 【その他】

- ・整備士の資格制度が変更になり、一級自動車整備士（統合）、二級自動車整備士（統合）、三級自動車整備士（統合）となる予定である。
- ・制度変更施行後の初回試験（2級：2027年、1級：2029年）実施に向け準備を進めて行く。
- ・昨今の自動車業界の不祥事を受け、JAMCAよりコンプライアンス授業を学校授業として行う発表があり、来年度より、学生の意識醸成の為、学校としても実施する計画である。

以上